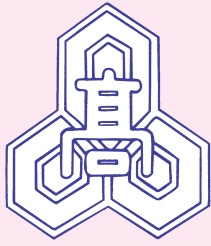


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第121号

令和4年3月1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



絵：齋藤晶子(美術教員)

大高らしさ

校長 渡部 敏郎

保護者の皆様、今年度も本校教育活動ならびに本校 P T A 活動に多大なるご協力とご支援をいただいたことにご感謝申し上げます。本校としては百周年という節目の年であり、百年の伝統の重さを強く感じる一年でありました。

特に図書館で保存されていた、六十年前の「文豪からの手紙」については、新聞やテレビに取り上げてもらい、かつて本校で学んだ生徒さんの高い素養の一端を発信してもらうことができました。中でも中国新聞の天風録という中で取り上げられたフリーズがとても気に入っており、うれしく読ませてもらいました。「伝統校にお宝あり」という紹介です。

周りの人から学校の総合力として、伝統校というプレミアをいただけて記事にしてもらったことに、大きな喜びと誇らしい気持ちを抱きました。

さて「家付き酵母」という言葉を「存」してでしょうか。いい味噌や醤油をつくる昔ながらの蔵元には、そのお店の独特の味を引き出す酵母が棲みついていて、その店独自のおいしい味噌や、醤油を造ってくれるのです。学校にも似たところがあり、生徒は毎年入れ替わるし、当然一人ひとり個性があり違うのですが、それでも同じ学校の生徒は共通する「らしさ」を宿していきます。

大高生も入学後三年間を過ごすうちに、独特の「らしさ」を身につけ、そして単立ちの時を迎えます。日々の授業、部活動、試験、岩谷奨学会館での自学自習、探究活動、大高祭など、当たり前の高校生活のすべてが「らしさ」を育んでくれるはずですよ。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんには「大高らしさ」がしっかりと身につけています。本校で学んだことに自信と誇りを持って、自ら選んだ道に進んでください。

ここ大田の地より末永いご活躍を祈念しています。

卒業生へ

贈る言葉

保護者より

卒業おめでとう

和田 恵

「三年間お弁当ありがとうございました」

お弁当最後の日の夜息子が言いました。

これを聞いた時、彼にとって大田高校での三年間は最高の時間だったから素直に出てきた言葉だったのかなと思いました。

毎日の通学道中の会話。十一秒のレースの応援へ二時間かけて向かったこと、小規模校から一人だけの入学に不安もありましたが、優しいたくさんの方達にめぐまれ、多くの方に支えられ充実した高校生活だったことが親としても嬉しく思います。

四月からは新成人になります。自分の行動に責任を持ち、それぞれの場所ですっかり自分を磨き、あなたたちの過ごした大田にいつか帰ってきてくれることを願っています。

最後に部活動以外でスキー競技をさせていただき、全国の舞台へ挑戦させていたただいたことに心から感謝申し上げます。

げます。

卒業生へ贈る言葉

吉田 柳 治

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。

刻々と変化していく日常の中で、新型コロナウイルス感染拡大のために、あたりまえだった生活、活動ができなくなつてから約二年が経ちました。高校生活のほとんどをこのような事態によつて、諦めなければならぬこともあり、悔しい想いをしたことと察します。誰もが想像もしていなかったこのような不測の事態の中でも、創意工夫いろいろなことにチャレンジしたことで得たこともあると思います。『成長するためにこの時間があった。』と思つていただけたら、この先どんなことがあつても乗り越えていける強い気持ちをもてる気がします。

民法の改正により、皆さんは今年四月から新成人となります。様々な道を歩んでいくことになりませんが、大人としての責任感と自覚をもって、これから先の人生が輝かしいものになるよう目標に向かって走つて下さい。応援しています。

卒業生へ贈る言葉

妹尾 由 香

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。

高校で過ごされた三年間は良い友人に恵まれ、多くを学び、様々な経験を積まれた日々だったと思います。

大田高校へ入学した頃にはまだ幼さの残る姿を思い出します。あつという間だった三年間ですが、その間には多くのことに挑戦し成果を挙げ心身共に成長した皆さんの姿が頼もしく親としてこんなに嬉しいと感じることは他にはありません。

「鳥のように自由に空を飛びたいと思うのは勝手だけどその鳥が飛ぶ前に何万回翼を動かしているかよく見てごらん」という北野武氏が言った私の好きな言葉があります。これからの未来、決して楽しいことばかりではなく様々な試練が待ち受けていると思います。ですが、今日卒業される皆さんには、高校生活で培った経験を活かし、努力を積み重ねてきた日々を大切に、そしてこれまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに一歩一歩進んでいって欲しいと思います。

皆さんの希望ある新たな人生に幸多きことを心から願っています。これまで三年間、ご指導くださった

先生方、お世話になりました職員の皆様、本当にありがとうございました。

卒業生のみなさんへ

三浦 政子

大田高校を訪れると、かの名曲の一節「あのころの未来にぼくらは立っているのかなあ」が頭に浮かびます。

かつて同校を卒業した私にとつて、高校生のころ思いもしなかった未来は、母校に入学した我が子の成長です。

こうした娘たちの高校生活を見るにつけ、この子たちの未来が明るく素晴らしいこと、苦しいことがあつても乗り越えられて、誰かのためにも頑張ることのできるものであることを願っています。

人は誰かの応援があれば、もつと成長出来る生き物ですよ。自信がなくなつたり、うまくいかないときには、友だちや先生、家族や地域の方々が、あなたがたを思ってエールを贈り続けていることを思い出してほしいのです。あなたがたの母校、大田高校のそばから、ずっとずっと応援しています！そしていつか故郷を応援してくれるのを待っています！

卒業生からの

メッセージ

旅立ちによせて

一組 吾郷 史弥

「これから長い高校生活が始まるぞ」と入学当初は思っていました。気がつけば卒業まであと少し、本当にあつという間の三年間でした。高校生活を振り返ると苦しいこともありましたが、沢山楽しい思い出もでき、福徳円満な日々だったなと思います。勉強や部活動では仲間達と楽しく、切磋琢磨して取り組みました。日々支えてくださった先生方、優しく接してくれた友人や先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。大高ラポの活動では、森田製菓(株)と協同して商品開発を行いました。この取り組みには友人や企業、地域の方々に協力していただきました。開発者の苦労や完成、売れた時の喜びは忘れられません。大変貴重で有意義な体験ができました。まだまだ沢山思い出がありますが、大田高校で学んだ一つ一つが、私の人生においてかけがえない宝物です。

四月から新たに大学生活が始まります。今まで学んできたことを活かし、更に成長していけるよう頑張ります。

三組 竹下 駆

高校三年間は本当にあつという間に過ぎました。この三年間は自分の将来

何の仕事がしたいのか何が学びたいのかについて深く考える期間になりました。そして、受験に近づくにつれて新型のコロナウイルスが猛威をふるい、とても不安な中でも支えて下さった先生方にとっても感謝しています。そしてこの三年間に本当に多くの人に出会い、人と関わっていくうえで勉強以外のことも多く学ばせてもらい、自分自身の成長に繋がったと思います。特に部活動では先輩や後輩に助けてもらいながら楽しい時間を過ごさせてもらいました。

これから自分の将来やりたいことについて新しい環境で学ぶことになりま。こうして新しい環境で学べることも先生方、友達の支えがあつたからこそ話です。

三年間楽しい日々をありがとうございました。



高校生活を振り返って

二組 森山 すす菜

本当にあつという間の高校生活。将来について考えた三年間でした。

私が所属した部活動は活動日数が少なかつた分、生徒会活動やダイコウラポ、ジョインツなどの地域の活動に積極的に参加しました。

これらの活動では、同世代だけでなく、地域の方、経営者の方とお話する機会が多く、大人と会話することが

怖くなくなりました。また、意見交換を積み重ねたことで、順序だてて考えることができるようになり、視野も広がつたと感じています。

幸い、私は、県内の大学に推薦で合格できたのですが、試験では、グループ討議と小論文があり、これまでの経験が大きく役立つたと思います。

大田高校には色々なことにチャレンジできる環境が整っています。在校生の皆さんも、ぜひ、勉強だけでなく、積極的に色々な経験をしてみてください。

四組 倉田 慎

高校三年間を振り返ると我慢しなければならぬことなどもたくさんありましたが、あつという間に過ぎました。

二〇二〇年に新型コロナウイルス感染症の拡大によって学校生活では、大高祭に制限が設けられたり、理数科研修旅行が中止になりました。また、部活動では予定されていた大会が、中止になったり、縮小されました。それに練習時間も縮小され、我慢を強いられることがありました。しかし日常のたわいない会話や、分からない問題を教えあつたりしてクラスの仲間三十一人で楽しく過ごすことができました。部活動では、日々の練習を仲間と楽しみながら一生懸命競技に取り組めたので、良かったと思います。

これからも我慢を強いられることはあるかもしれませんが、我慢の中にも楽しいことや頑張れることがあるので、それらを探りながら頑張りたいと思います。

委員会活動報告

研修委員会 和田 恵

今年度の研修委員会の活動は十月九日に開催された創立百周年記念式典の準備、運営サポートを行いました。当初計画していた講演会の開催に向け検討しましたが、第五波拡大の中、式典と同時期の開催は厳しいと判断致しました。今後はリモートなどを活用した活動が行えるよう考えていきたいと思えます。

会員交流委員会 竹下 和宏

今年度の会員交流委員会は、コロナ禍のため、体育祭での保護者受付を行いました。検温や名簿提出など来場された三年生の保護者のみなさんにもご協力いただき終えることができました。

生活指導委員会 松本 竜二

今年度の活動につきましては十二月に大田警察署地域課の協力を受け交通安全街頭指導を実施しました。当日は交通安全の陣旗や防犯チラシを活用して呼びかけや挨拶を行いました。

生徒の皆さんは徒歩・自転車通学ともに挨拶もマナーもとても良く感じました。このような活動が交通事故、地域防犯に対して少しでも意識向上に繋がればと思います。ご協力頂いた皆様、お忙しい中ありがとうございました。

門出を祝って

三年一組 担任 中島 優希

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんの高校生活のうち、二年間はコロナ禍と呼ばれる未曾有の出来事の渦中でしたね。見えない『モノ』—それはウイルスだけでなく、情報や人や、時にさまざまでしたが—に怯え、子どもも大人も先の分からない恐怖と闘った二年間でした。多くのことが従来通りにはいかず、私たちが依ってきた「普通」とは何だったのかを深く考えさせられました。



入学式(H31年4月)

しかし、そのような中でも君たちは、いつも明るく朗らかで、困難や障害などなんのその、常に自分らしくキラキラと輝き続けていました。自分の可能性を信じて、前を向き、一時も弛むことなくひたむきに駆け抜けていました。そして何より、家族や友だちを大切に、人との繋がりがや、愛の尊さを私たちに教えてくれました。

私が思うに、君たちの人間の深さは、君たちを見守る家族や地域の大人たちの深い愛情によるものだと思います。そのように愛されたことに、ぜひ誇りをもってください。

君たちは「宝物」です。家族にとつて、友だちにとつて、大田高校にとつて、そして大田市や島根県にとつて、いつまでも、自分が「宝物」であることを忘れないでください。決して自分を傷つけないで。宝物らしく、堂々と、光り輝く存在でいてください。

最後に卒業にあたって、君たちに谷川俊太郎さんの『今年』という詩を贈りたいと思います。大変長い作品ですので、すべてを紹介できませんが、「涙があるだろう 今年も」で始まるその詩は、激動の時代を生きていく君たちの応援歌になつてくれると思います。どうか逆風・強風に負けないで。君たちらしく、さわやかに駆け抜けて

いってください。

「今年も歓びがあるだろう
生きてゆくかぎり
いなむことのできぬ希望が」

(谷川俊太郎「今年」)

君たちの活躍を祈っています。

広い世界へ

三年二組 担任 松下 知広

尾籠な話で恐縮ですが、先日トイレで用を足していると、隣に居合わせた三年生に「何のために勉強するんですかね」と聞かれました。以前勤めていた学校でのことを思い出しました。当時のセンター試験直前、担任していたクラスの学級日誌に、こんなことが書いてありました。「なんのために勉強しているのかな、と考えてみたところ、今、社会にあるいろんな問題(財政、外交、再生医療など)を解決しようと思つたら、それについて勉強しないといけないわけで、その様々な問題を解決することによって、社会がよりよくなり、それによって自分たちが良い生活を送れるわけで、結局、自分のために勉強しているんだ、という所にとどりつきました。」担任所見には、こう

書きました。「今は、必ず正解のある問題について、一生懸命勉強しているところですよ。将来は、『答え』の定まっていない問題について考えなければなりません。そうした問題に取り組むための①基礎的な知識②基礎的な考え方のレッスン、を今していることになると思います。頑張ろう。」受験の頃には「勉強する、学ぶ」ことについて考えるものなんだなと感じました。トイレの彼にも先ほどの担任所見と同じ主旨のことを言いました。

光陰矢の如し。卒業生の皆さんが、自分の進みたい分野を考え、文理選択を検討していたのが、ついこの前のように思えます。予定通りの分野に進むことになった人、この二年間で大きく方向転換した人、様々でしょう。皆さんには、現在満載されている基礎的な知識や考え方を活用して、これからは自分の専門としたいことを思いきり学び、自分が最善と思うことを考え、出来れば、将来的には社会を良い方向に導いてもらいたいと思います。そして、何より、充実した時間を過ごして欲しいと思います。これまで以上に、出会いや経験を重ね、自分のことだけ考えるのではなく視野も大きくして、今までの小さな世界を飛び出し、広い世界へ。

新たな旅立ちに向けて



新たな旅立ちに向けて



これからの社会を

生きていく君たちへ

三年三組 担任 小岩 紀仁

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんが一年生の時から、卒業するまで関わったことは、私にとっても光栄なことです。三年間いたらないところが多々あったと思いますが、みなさんの優しさと真面目さに支えられて、何とかやってこられました。本当にありがとうございます。

みなさんが二年生になったとき、学校が休校になりました。その際、遠隔授業やオンライン教材が脚光を浴びました。国もギガスクール構想などを推し進めていく準備はしていたと思いますが、図らずもコロナ渦で学校教育のデジタル化が一層進んだ気がします。来年度の一年生からは学習指導要領も新しくなり、いよいよ一人一台端末の時代がやってきます。社会全体にもデジタル化がさらに進んでいくことでしよう。これからの社会を生きていくみなさんは、めまぐるしい変化に対応していかなければなりません。よく言われることですが、さまざまなものがインター



目的

三年四組 担任 大峠 昌裕

三年生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、大田高校での三年間の学びの上に進路を選び、入社および入学試験に挑み、乗り越え、別々の道へ歩み出そうとしています。

高校三年生での受験を経て「どこに就職するか」や「どこに進学するか」より、その目標達成のために、自分がどう考え、何をどのように行い、そして自分の何が成長できたのが大切だと考えており、生徒のみなさんにも伝えてきました。なぜならば、今決まっている進路先は目的ではなく、目的に到達するまでの一つの目標にすぎないからです。もし、今回の目標に対して結果が出なくても、自分を否定すべきではなく、その目標に対し改善して再挑戦することもでき、別の目標につながることもできます。大切なのは目的であり、目標を設定し、その達成と改善によって目的の実現のために少しずつ良い方向へ進んでいくのです。では、みなさんの目的は何でしょうか。難しい質問かもしれませんが、私の目的は「多くの人に必要とされる人

ネットにつながり、我々の生活の中にデジタルが欠かせない存在になります。私は、何でもかんでもデジタル化することに賛成ではありませんが、これからの世の中で、デジタルを完全に否定することも難しいことだと思っています。これからは待つだけだと変化に対応できません。肝心なのは、アンテナを高く張って変化を予測し、それに対応する力を身に付けることだと思います。みなさんならきつと出来ると信じています。力強く自分の道を切り開いていってください。いつまでも応援していますよ。

になりたい」であり、そのための目標の一つが教師なのです。自分の目的が何なのかを、今即答できなくても構いません。ですが、「自分はこういう人でありたいのか」、「自分がどういう人になりたいのか」を主観的に、時には客観的に考えて、頭の片隅においてこれからの道を歩んでいくて欲しいです。そして、私の勝手な願いとすれば、いつか、どこかで出会ったときに、「みなさんの目的は何ですか」の答えを教えてください、そのために何をしているのかを聞いてみたいです。楽しみにしています。



【学校評価アンケートの結果について】

令和3年度学校評価アンケートの実施に際しましては、生徒の皆さん、また保護者の皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。本日ここに、今年度の学校評価アンケート結果をお知らせいたします。

本アンケートのねらいは、今年度における本校の教育活動全般について、生徒・保護者・教職員が様々な項目で評価し、その結果を踏まえて次年度の目標を設定し、より充実した教育活動を計画していくことにあります。

今後はこの結果を踏まえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、学校関係者評価委員会を経てまとめたものを、後日公表いたします。

令和3年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全学年：365名回答）

とてもそう思う (4)
 だいたいそう思う (3)
 あまりそう思わない (2)
 全くそう思わない (1)
 わからない (0)

評価項目	平均	(%)
1 本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.4	4 19 23 7 47
2 地域に係る活動（地域体験活動や地域探究学習など）を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	3.0	22 55 13 3 7
3 IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	3.0	22 54 15 4 5
4 協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて深い学びをすることができましたか。	3.2	32 53 7 4 4
5 本校は、教室内にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.5	51 43 3 1
6 本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	3.1	23 59 11 2 5
7 宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.0	23 50 18 5 4
8 本校の図書館は利用しやすいですか。	3.0	23 44 15 4 14
9 本校の図書館の蔵書構成（自分が読みたいような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3.1	20 44 11 2 23
10 「図書館だより」「BOOKHOUSE」の配布、「読んでみよう！コーナー（生徒、教職員のオススメ本の展示）」等の掲示は、読書についての興味関心につながっていると感じますか。	2.8	18 39 19 7 17
11 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.2	37 49 7 3 4
12 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	3.2	31 37 10 4 18
13 本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	3.0	25 47 14 4 10
14 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.9	16 47 18 2 17
15 本校の進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3.2	33 54 7 2 4
16 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、自分の生き方なり方について考えることができましたか。	3.1	23 58 9 3 7
17 放課後補習（3年対象）や休日講座（自習型・模試対策型）は学力向上に効果がありますか。	3.1	28 39 11 5 17
18 本校は、あなたの進路の実現に努めていますか。	3.2	32 56 6 1 5
19 「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等を通して、学校の様子は伝わっていますか。	3.0	16 43 8 3 30
20 本校は、生徒の安全確保（安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.2	31 52 5 2 10
21 本校では、スクールカウンセラーに相談できることを知っていますか。	3.6	59 29 3 2 7
22 本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。	3.1	26 51 11 3 9
23 あなたの健康管理・維持への本校の対応や指導は適切ですか。	3.2	29 55 5 2 9
24 人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.4	41 49 4 1 5
25 本校は相談しやすい学校ですか。	2.8	14 47 19 9 11
26 面談等を通して自分のことを理解してもらっていますか。	3.1	25 54 8 4 9
27 総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	3.0	24 49 13 5 8

令和3年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：187名回答）

評価項目	平均	割合 (%)				
		(4)	(3)	(2)	(1)	(0)
1 本校のランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.6	2	17	6	4	71
2 本校は、地域に係る活動（地域体験活動や地域探究学習など）を通じて、お子様の地域への理解や愛着を深めていますか。	2.8	9	51	18	2	19
3 本校は、IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じて、お子様のITへの理解や興味が深めていますか。	2.7	4	52	20	3	21
4 本校は、協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて、お子様に深い学びを提供していますか。	2.8	5	42	12	2	39
5 本校は、教室にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.0	11	36	9	1	43
6 本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに答えていますか。	2.8	7	59	16	5	13
7 宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.0	19	61	11	2	7
8 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.3	28	62	2	1	7
9 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.8	13	52	16	7	11
10 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.8	8	35	18	3	36
11 本校の保護者向け進路説明会等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	3.0	17	58	8	3	14
12 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	2.9	14	59	14	5	8
13 放課後補習（3年対象）や休日講座（自習型・模試対策型）は、お子様にとって有意義なものになっていますか。	3.0	13	51	8	2	26
14 本校は、お子様の進路志望の実現に努めていますか。	3.0	18	52	11	4	15
15 「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等を通して、学校の様子は伝わっていますか。	3.0	12	59	13	2	14
16 本校は、生徒の安全確保（安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.1	22	60	7	2	9
17 本校における、スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	2.6	4	39	16	6	35
18 本校が通知したお子様の定期健康診断結果等の情報は役立っていますか。	3.3	28	62	4	0	6
19 お子様は、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができていますか。	2.9	10	58	13	1	18
20 本校は相談しやすい学校ですか。	2.7	7	53	21	8	11
21 本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。	3.0	14	57	12	3	14
22 総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったですか。	3.2	33	48	11	1	7



1年生市議会連携授業



2年生大学訪問 (島根大学生物資源学部)



校内ロードレース



2年生大学訪問 (島根県立大学)

編集後記

ご卒業おめでとうございます。
大田高校でのたくさんの思い出を胸に旅立られる皆さんのこれからの活躍を期待しております。一年間、泰山木の発行に関わらせていただき、大田高校をより身近に感じられたことを嬉しく思っています。

最後に、泰山木の発行にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。
ありがとうございました。(田中麻美子)

2021年は2020年と同様新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。学校活動の制限や新しい生活様式の実践が求められ、生徒の皆さんも先生方も保護者の皆さんも大変であったと思います。そんな中でも年間二回のPTA広報誌を無事お届けすることができ、安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。「泰山木」120号、121号を発行するにあたり、取材や寄稿等ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。
(三谷愛子)

三年生の皆さん、保護者のみなさんご卒業おめでとうございます。卒業し、大きな一歩を踏み出す卒業生の皆さんに明るく幸福な未来が開けることを願っています。

コロナ禍で制限の多い高校生活になってしまっただかとは思いますが、創立百年目の卒業生として、それもこれもよい思い出と笑って集まれる日まで、心のどこかで母校やふるさとを想っていてもえたらうれしく思います。

本年度の「泰山木」にご寄稿いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、一年間ありがとうございました。
(荊尾敦史)